

# THE SAISON FOUNDATION

## 公益財団法人セゾン文化財団

### セゾン・アーティスト・イン・レジデンス、ヴィジティング・フェローの紹介

公益財団法人セゾン文化財団では、2020年度の「セゾン・アーティスト・イン・レジデンス、ヴィジティング・フェロー」の一環として、カナダを拠点に活動する作家、演出家、女優のマリー・ブラッサールをお迎えいたします。

マリー・ブラッサールはモントリオールにて長年、ロバート・ルパージュの創作に関わり、彼の舞台作品や映画に数多く出演した経歴を持つ演出家です。2001年、デビュー作『ジミー』をアメリカ演劇祭で発表後、自身のプロダクション “Infrarouge” を創設して本格的な活動を開始しました。多様なジャンルのアーティストと共同で創作を行い、熟練した演技力とともに、革新的な映像や照明、サウンドを特徴とする幻想的な舞台作品を創り出しています。日本では、2017年、『この熱き私の激情』の日本版を創作し、同作品は東京で3週間の上演後、広島、北九州、京都、豊橋へ巡回されました。

セゾン・アーティスト・イン・レジデンスでは、ドイツのテアターデアヴェルト 2020 やカナダのフェスティヴァル・トランスアメリカ(FTA)で上演予定の新作、『Violence』のクリエーションを行います。2019年にモントリオールの Usine C で上演された『Introduction to Violence』をベースにした同作品では、振付家として奥野美和、俳優として竹中香子、初音映莉子が参加しています。

ヴィジティング・フェローでの滞在期間中、日本の舞台芸術の状況や背景、魅力などを発見していただくため、多くの舞台芸術関係者と交流していただきます。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- 滞在期間 2020年4月13日(月)-4月27日(月)
- 滞場所 森下スタジオ (東京都江東区森下3-5-6)
- 滞在目的 『Violence』  
滞在目的: 新作、『Violence』のために、振付家、奥野美和や俳優、竹中香子、初音映莉子とクリエーションを行う。

	<p><b>プロフィール</b></p> <p>マリー・ブラッサール (Marie Brassard)</p> <p>作家、演出家、女優。2001年、デビュー作を『ジミー』を現在のフェスティバル・トランスアメリカであるアメリカ演劇祭で発表。その作品の成功がきっかけとなり、自身のプロダクション “Infrarouge” を創設して、本格的に自身名義の活動を始める。多様なジャンルのアーティストと共同で創作を行い、熟練した演技力とともに、革新的な映像や照明、サウンドを特徴とする幻想的な舞台作品を創り出している。</p> <p>彼女の作品はカナダ国内以外では、パリのオデオン座、ロンドンのバービカン・センター、ベルリンのゾフィエンゼーレ、ウィーンのブリュート、ストックホルムのクルトゥールヒューセツト等のヨーロッパの有数の劇場で上演されている。また、ケベックの芸術コミュニティへの貢献が称えられ、2016年、ケベックの芸術文化勲章を受章している。</p>
<p>マリー・ブラッサール</p> <p>© Minelly Kamemura</p>	